

小学校国語科 十勝教育研究所（大樹町立大樹小学校）

キーワード 考えを広げ深める対話の工夫と、学びをつなげる振り返り

単元名

登場人物が考えていたことをそうぞうしよう
「わにのおじいさんのたからもの」

第2学年

1 単元の目標

- (1) 文の中における主語と述語との関係に気付くことができる。
- (2) 場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像することができる。
- (3) 文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもつことができる。
- (4) 言葉がもつよさを感じるとともに、楽しんで読書をし、国語を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。

2 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
① 文の中における主語と述語との関係に気付いている。	① 「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。 ② 「読むこと」において、文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもっている。	① 進んで、登場人物が考えていたことを本文の言葉を根拠に想像し、学習課題に沿って物語の続きを考えようとしている。

3 指導と評価の計画（全14時間）

時間	学習活動	評価規準（評価方法）		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1	○物語を読んで、初発の感想を書く。 ・「たからもの」や「おに」についてのイメージを共有する。 ・「わにのおじいさんのたからもの」を読み、初発の感想を書く。 ・「きつねのおきやくさま」の終わり方と比較して、「まだ続きがあるかもしれない」という課題意識をもち、「お話の続きを考える」という単元のゴールを確認し、2時間目の活動につなげる。		②（ノート）	
2	○物語の続きを考える。 ・物語の続きを考え、うまくいかなかったことを中心に振り返る。 ・学習計画を立てる。		①（ノート・ワークシート）	①（ノート・ワークシート）
3	○物語の設定を確かめる。 ・人、時、場について確認する。	①（ノート・発言）		



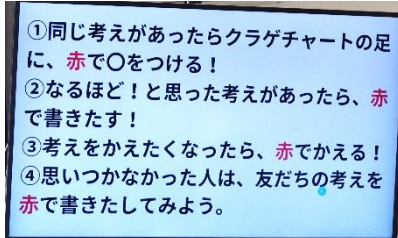

4	○出来事をつかむ。 ・それぞれの場面で、「誰が」「何をしたのか」をまとめる。 ・挿絵を並べ替え、大まかな内容を捉える。	① (ノート)		
5	○おにの子の性格を考える。 ・叙述を基におにの子の人物像を考え、クラゲチャートにまとめる。		① (ノート・ワークシート)	
6 本時 ①	○おにの子の性格を伝え合い、考えを広げる。 ・前時に考えたおにの子の人物像について、友達と交流し、考えを修正したり、広げたりする。		① (ノート・ワークシート)	① (ノート・ワークシート)
7	○わにのおじいさんの性格を考える。 ・叙述を基にわにのおじいさんの人物像を考え、クラゲチャートにまとめる。		① (ノート・ワークシート)	① (ノート・ワークシート)
8	○おにの子にたからもの場所を教えた理由を考える。 ・わにのおじいさんが、初めて出会ったおにの子になぜたからもの場所を教えようとしたのかを、おにの子の人物像などを基に考える。		① (ノート・発言)	
9	○おにの子が、夕陽を見たときに考えていたことを想像する。 ・叙述を基に、おにの子がどんなことをしていたのかを、ワークシートの吹き出しに記述する。		① (ワークシート・発言)	
10	○自分なら、おにの子の足もとにたからものが埋まっていることを教えるか・教えないかを考える。 ・前時までに取り出したことを生かし、「教える」「教えない」の立場を選択し、その理由を考える。 ・それぞれの立場から理由を交流し、自分の考えを広げる。		② (ノート・発言)	① (ノート・発言)
11	○物語の続きを考える。 ・教師が書いた物語の続きを修正することで、活動の見直しをもつ。 ・これまでの学習を生かして、2時間目に書いた物語の続きを修正したり、加筆したりする。		① (ノート・ワークシート)	① (ノート・ワークシート)
12	○友達が書いた物語の続きを読んで、自分の物語の続きに生かす。 ・お互いの物語の続きを読んで考えたことを交流する。 ・交流したことを活用し、自分の物語の続きに生かす。		① (ノート・ワークシート)	① (ノート・ワークシート)
13	○これまでの学びを生かして、物語の続きをさらによくする。 ・前時の活動で友達と交流したことなどを生かし、自分の物語の続きを再考したり、修正したりする。		① (ノート・ワークシート)	① (ノート・ワークシート)
14 本時 ②	○物語の続きのよくなったところを振り返る。 ・自分の物語の続きを修正したところについて振り返り、よさを見つける。 ・単元を通して成長したところを振り返る。		② (ワークシート・発言)	① (ワークシート・発言)

4 本時案① (6/14)

(1) 本時の目標

おにの子の人物像について交流する中で、よりふさわしいと思う人物像に修正したり、考えの根拠を増やしたりすることができる。

(2) 本時の展開


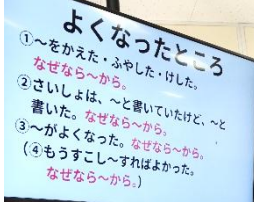
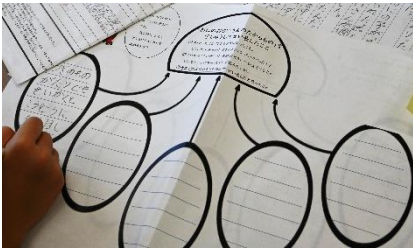
時	○学習活動 ・児童の反応	◇留意点 ☆評価
導入	<p>○前時の学習を振り返る。 前時に考えたおにの子の人物像を振り返り、本時の課題につなげる。</p> <p>○ B 子どもの「興味・関心」や「問い」を大事にした授業 ・言語活動を常に明確にすることで、本時の学習が単元のゴールにどう生かされるのかについての共通理解を図り、必要感のある課題設定につなげることができる。</p> <p>○ C 子どもが安心して、進んで取り組める授業 ・黒板にカテゴライズされた意見を見て、子ども自身が「自分と同じ」「自分と違う」と明確に立場を理解した上で、次の学習活動に向かうことができる。</p> <p>○本時の課題を確認する。</p> <p>おにの子の性格を伝え合い、考えを広げよう。</p>	<p>◇「物語の続きを書く」という単元のゴールを確認し、本時の目的意識をしっかりとつとめることができるようにする。</p> <p>◇どんな人物像を考えたのか黒板に可視化する。</p> 
展開	<p>○黒板に書いてある人物像を見て、交流したい人を自分で選び、どうしてその人物像を考えたのか交流する。</p> <p>○ A 子どもが「自分(たち)で学び取る」授業 ・自他の立場をふまえて交流相手を選択したり、必要があれば自分の立場を変えたり、不足部分が判明したら補ったりと、自分たちで学びを強化することができる。</p> <p>・なんで「礼儀正しい」と思ったの? →「わにのおじいさん」と呼び掛けているから、「礼儀正しいと思いました。</p> <p>○自分の考えを、クラゲチャート上で修正したり追加したりする。</p> <p>○全体で交流する。 ・「おじいさんに葉っぱをかけてあげた」から、優しいと思いました。</p>  <p>せりふや行動に注目すると、登場人物の性格を考えることができる。</p>	<p>◇交流の目的を確認する。</p>  <p>① 同じ考えがあったらクラゲチャートの足に、赤で○をつける! ② なるほど!と思った考えがあったら、赤で書きたす! ③ 考えをかえなくなったら、赤でかえる! ④ 思いつかなかった人は、友だちの考えを赤で書きたしてみよう。</p> <p>◇複数の叙述を関連付けると、登場人物の性格がはっきりすることに気付くようにする。</p> <p>☆登場人物の行動を具体的に想像し、おにの子の人物像について考えている。(思・判・表)</p> <p>☆進んで他者と交流し、おにの子の人物像について考え直したり、根拠となる叙述をさらに見つけようとしたりしている。(態度)</p>
終末	<p>○本時を振り返る。</p> <p>○お互いの振り返りを交流する。 ・友達の意見を聞いて、友達の考えと自分の考えを合わせたら、クラゲチャートの足を増やせました。</p>	

4 本時案② (14/14)

(1) 本時の目標

物語の続きをよりよくするために、修正や追加した箇所を交流したり、単元全体を振り返ったりすることができる。

(2) 本時の展開

時	○学習活動 ・児童の反応	◇留意点 ☆評価
導入	<p>○前時まで自分の書いた物語の続きが、よくなったかどうか自己評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・すごくよくなったからスマイルにしよう。 <p>○本時の課題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>お話の続きのよくなったところを振り返ろう。</p> </div> <div style="border: 1px solid blue; border-radius: 15px; padding: 5px; margin-top: 10px; background-color: #e0f0ff;"> <p>○ C 子どもが安心して、<u>進んで取り組める授業</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・発達段階を考慮し、自己評価を簡易化することで、意欲向上や時間短縮を図る。 </div>	<p>◇3段階の表情イラストから1つを選び、黒板に全員の自己評価を可視化する。</p> 
展開	<p>○自分が考えた物語の続きを修正したり、追加したりした箇所を中心に振り返り、自分の考えた物語の続きのよさを見付ける。</p> <div style="border: 1px solid blue; border-radius: 15px; padding: 5px; margin-top: 10px; background-color: #e0f0ff;"> <p>○ C 子どもが安心して、<u>進んで取り組める授業</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・振り返りの型を複数提示することで、子どもにとっては書きやすく、教師にとっては指導のねらいや目的に沿った振り返りが期待できる。 </div> <p>○よくなったところを全体で交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おじいさんらしい言葉遣いにできた。 ・おにの子が優しい性格だから、優しい終わり方になるようにした。 ・友達の見解を使ったら、前よりよくなった。 ・登場人物の性格や言葉遣いを生かして書けば、よくなるんだな。 <div style="border: 1px solid blue; border-radius: 15px; padding: 5px; margin-top: 10px; background-color: #e0f0ff;"> <p>○ A 子どもが「<u>自分(たち)で学び取る</u>」授業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元を通して学んだことや考えたこと、他者との交流を通して気付いたことなどを生かし、自身の学びや成長を言語化することでメタ認知を図る。 </div>	<p>◇振り返りの型を提示する。</p>  <p>◇振り返りを書き終わった子どもや、書くことに困っている子どもは、他者と考えを共有し、自分の考えに追加する。</p> <p>◇単元で学習した人物像や、心情の変化などを活用することで、物語の続きとしてふさわしい内容になることに気付くようにする。</p> <p>☆自分の物語の続きのよさを見付けたり、単元全体を振り返ったりしている。(思・判・表)</p>
終末	<p>○単元の学習をクラゲチャートに振り返る。</p>  <p>○振り返りを共有する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・わにのおじいさんでやったことは、違う物語でも使えると思った。 	<p>☆進んで、自分の物語の続きのよさを見付けようとしたり、単元全体を振り返ろうとしたりしている。(態度)</p> <p>◇今まで蓄積してきた振り返りや、成果物などを参考にする。</p> <p>◇書き終わった後は、子ども同士で共有し、大切だと感じた他者の振り返りをクラゲチャートに追加する。</p>

5 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実に係る授業改善のポイント

○考えを広げ深める対話

・課題や目的意識の共有（視点を明確にした対話）

単元の課題やゴールを子どもと教師で繰り返し確認し、その達成につなげるために対話を行うという目的意識を共有することによって、主体的に学習や対話に取り組むことができる。

・自己決定の場の設定

シンキングツールを活用したり、問題・課題解決の手段を自己決定したりしながら対話の形態を工夫することで、子どもが様々な相手といろいろな手段で交流し、考えの幅を広げることができる。

○学びをつなげる振り返り

・視点を明確にした振り返り

振り返りの視点を明示し、それに沿って文章をまとめることで子どもの思考や学習内容が整理され、「次はこうしたい」「これをやってみたい」という次時以降の課題が明確になり、学びの自己調整につなげることができる。また、振り返りを継続的に積み重ねることで、書く力がついたことや、分からなかったことが分かるようになったこと、学んだ内容をこれからの学習にも活用できること等を子どもが実感し、達成感や学びの意欲を高めていくことができる。

・共有、比較する振り返り

振り返りを共有、比較することによって、他者の記述から新たな気づきを得たり、次の学びにつながる課題やアイデアを取り入れたりすることができ、学びを深めることができる。